

科目名	子どもの理解と援助（保育士必修：幼稚園教諭二種必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022年度 前期	単位数	1
担当教員	郭 小蘭		
内容および計画	<p><b>【授業の目的】</b>          本科目の目的は幼児理解についての知識を身に付け、考え方や基礎的態度及び幼児理解の方法を具体的に理解することである。学修した結果、学修者が固定観念を持たずに、乳幼児の生活や遊びの実態に即して発達や学びを多面的に捉えること、一人一人の子どもと集団との関係からも捉えること、状況理解・共感・応答的な関わり・受容というような基礎的な態度で子どもの発達援助を行う対応力、そういった基礎を身に付けることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b>          (1) 幼児理解の意義と原理          ①子ども一人一人の実際の姿に応じた発達や学びの把握が保育実践の出発点であることを述べることができる。          ②子どもの理解に基づいて、養護と教育を一体的に展開することを列挙することができる。          ③子どもの理解を深めるための教師の基礎的な態度と子どもとの関わりを理解している。          (2) 子どもを理解する視点          ④子どもの生活と遊びを映像を通して具体的に理解することができる。          ⑤子どもと保育者の信頼関係の重要性を事例検討を通して実感することができる。          ⑥集団の状況との関係から子ども一人一人の内面を読み解くことの重要性を具体的に理解することができる。          ⑦葛藤やつまずきを周りの子どもとの関係やその他の背景から理解することができる。          ⑧環境の変化や移行における留意事項を具体的に理解している。          (3) 子どもを理解する方法          ⑨観察・記録の意義や目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。          ⑩観察・記録から子どもの理解と学びを読み取ることができる（子どもの理解に基づく評価）。          ⑪職員間の対話の重要性、保護者の心情と基礎的な対応の方法を述べることができる。          (4) 子どもの理解にもとづく発達援助          ⑫発達の課題や特別な配慮を要する子どもの理解と援助を具体的に理解している。          ⑬発達の連続性と就学への支援について具体的に理解している。</p> <p><b>【授業概要】</b>          子どもの理解の意義や重要性を理解し、保育実践と結びつけて考察する。また、子どもの発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応方法について、個と集団の関係や家庭との連携を含めて考える。詳細は15回の計画を参照する。</p> <p><b>【授業方法】</b>          到達目標に応じてDVDなどの視聴・要点解説・少人数のグループワーク・ICTを活用する。対話型授業で行う。</p>		
1	「子どもの理解と援助」に関するオリエンテーション (1) 子どもの理解の意義と原理 ・シラバスの解説 ・幼児理解と指導計画案の作成・実施・評価との関係を学ぶ。		
2	(1) 子どもの理解の意義と原理 ・子どもの理解に基く養護と教育の一体的展開 DVD 視聴・要点解説・グループワーク		
3	(1) 子どもの理解の意義と原理 ・子どもに対する共感的な理解と子どもとの関わり（保育者との信頼関係の重要性） DVD 視聴・要点解説・グループワーク		
4	(2) 子どもを理解する視点 ・子どもの生活と遊び（基本的な生活習慣の形成、遊びの意義・遊びの要素・多様な遊びにおける学び） DVD 視聴・要点解説・グループワーク		
5	(2) 子どもを理解する視点 ・「自分」の世界と「友達」の世界の広がり（協同性の育ちを捉える視点） DVD 視聴・要点解説・グループワーク		

6	(2) 子どもを理解する視点 ・気になる子どもの事例からの学び（けんかやつまずきの場面から個の育ちと集団の育ちを読み解く） DVD 視聴・要点解説・グループワーク
7	(2) 子どもを理解する視点 ・気になる行動への保育者の対応（姿）と周囲の子どもの受け止め（保育者の対応（姿）から周囲の子どもは何を学んでいるかを考える） DVD 視聴・要点解説・グループワーク
8	(2) 子どもを理解する視点 ・環境の変化と移行について実態を調べる。
9	(3) 子どもを理解する方法 ・観察・記録の方法と分析・考察の視点 DVD 視聴・要点解説・グループワーク
10	(3) 子どもを理解する方法 ・演習：観察・記録の実際（幼児の遊びの様子を模擬保育で観察し、記録する。）
11	(3) 子どもを理解する方法 ・観察・記録から子どもの理解と学びを読み取る（評価）（学びのつながり、「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」） 事例検討。要点解説・グループワーク。
12	保護者との情報共有
13	(3) 子どもを理解する方法 ・演習（保護者の心情理解と家庭への支援方法を模擬保育で学ぶ）
14	(4) 子どもの理解に基く発達の援助 ・演習：発達援助の実際（発達の課題や特別な配慮を要する子どもの事例を模擬保育で体感する。）
15	(4) 子どもの理解に基く発達援助 ・幼児教育から小学校教育へ 1ねんせいになるってことは ・DVD 視聴・要点解説・グループワーク

#### 教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『子どもの理解と援助 演習ブック』	松本峰雄 監修	ミネルヴァ書房	9784623090679	2021

- (1) 図書館にある DVD を授業の教材として使用します。授業時間外に詳しく視聴することが望ましいです。  
(2) 事前に classroom にレジュメなどの資料を掲載するので事前に読んできてください。読んできている前提で授業を進めます。  
(3) 教材研究に ICT などを活用してください。  
(4) 教員に参考文献などについて積極的に助言を求めてください。

参考書	①『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』。 ②授業のレジュメに記載してある書籍。 ③図書館にある DVD・保育雑誌。 ④『続・発達がわかれば子どもが見えるー保育のプロが教える妊娠から4歳までの子育て術』
-----	---

#### 成績評価

評価方法	割合(%)
「内容欄」に記載されている13個の達成目標の達成度（理解度・文章力という観点から A,B,C3 段階）	60
課題レポート（理解度・文章力・自分の考えの有無という観点から A,B,C3 段階で評定する。）	20

リアクションペーパー（理解度・文章力・自分の考えの有無という観点から A,B,C3 段階で評定する。）	10
授業中の取り組み（集中力・発言・傾聴・積極性という観点から A,B,C,D 4 段階で評定する。）	10
レジュメを事前に読んでくること・資料の復習・ノートの整理・言語的及び非言語的表現力が必要である。	
<b>学習到達目標</b>	内容欄に記載してある。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	（１）児童養護施設で心理士を務めていたことがある。 （２）会津地域でスクールカウンセラーを長年務めていたことがある。
<b>その他</b>	共に充実した内容の楽しい授業をつくっていきましょう。 学修者の成長を身近で見守るのが楽しみです。